９月の農作業管理

指導販売課

柑橘

「一果入魂」こだわりを持った生産管理に努めよう

病虫害防除

※カメムシの発生が平年に比べて異常に多いので発生園は早急に防除を行いましょう

時　　期	対象病害虫	品　　種	薬　剤　名
９月中旬	カメムシ（発生園）	全品種	ダントツ水溶剤　4,000 倍 又は テルスターフロアブル　6,000 倍 ※収穫前日数：前日まで
９月下旬	貯蔵病害	極早生	トップジンM水和剤　2,０００倍 ※収穫前日数：前日まで

※ 出荷される方は、収穫前のトップジン M 水和剤を必ず散布して下さい

◎かいよう病防除

台風襲来前に

コサイド３０００　2,０００倍＋クレフノン　２００倍

又は

クプロシールドフロアブル　2,０００倍

※通常防除と７～１０日間隔をあけて散布して下さい。

浮皮対策と品質向上対策

浮皮防止としてマイルドカルシウム、品質向上対策としてリンクエース、養水分吸収抑制として
フィガロン乳剤の散布に努めましょう。

【１回目】　極早生・早生　９月上旬 高糖系・普通　９月中旬		【２回目】　極早生・早生　１０月上旬 高糖系・普通　１０月上旬	
フィガロン乳剤	3,０００倍	マイルドカルシウム	６００倍
マイルドカルシウム	６００倍	リンクエース	2,０００倍
リンクエース	2,０００倍		

※樹勢の低下した園では、フィガロン乳剤の使用を控える。

※フィガロン乳剤を摘果剤・熟期促進で２回以上使用している場合は、マイルドカルシウム、リンクエースのみ散布して下さい。

浮皮防止

中生９月中旬、高糖系（１月中旬以降出荷用）９月中下旬
ジャスモメート液剤　２，０００倍　＋　ジベレリン液剤　５，０００倍

※ジベレリン液剤を散布すると着色が遅れます。

◎かん水の実施

せとみ、デコポン==無降雨日数１０日を目安にかん水する。

※1 樹あたりのかん水量（成木園）　１００ℓ

仕上げ摘果

極早生の樹上選果・・・・・・・早急に実施。
早生・中生・普通の仕上摘果・・肥大状況を確認し適正適果を進める。
高糖系の仕上摘果・・・・・・・下向きの果実を残す。
大玉果の摘果（上向きの太い果梗枝の果実は１０月下旬に基部から切除）

落葉果樹

	病害虫	防除薬剤
西条柿	炭そ病 うどんこ病	ｽﾄﾛﾋﾞｰﾄﾞﾗｲﾌﾛｱﾌﾞﾙ 3，000倍
キウイ	カメムシ 軟腐病	ダントツ水溶剤　4，000倍 ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤　1，000倍

※キウイの防除には必ず展着剤としてアビオンＥの１０００倍を加用散布する

野菜

秋まき野菜の播種

作物名		ダイコン	ホウレンソウ	パレイショ	タマネギ
播種時期		９月上旬	９月上旬	９月上旬	９月中旬
畝幅（㎝）		１００	６０	６０	９０
畝の高さ（㎝）		１０	１０	２０	１０
条数（条）		２	４	２	―
株間（㎝）		４０	１～２	３０	１～1.5
元肥	完熟堆肥kg/㎡	３	３	３	１
	苦土石灰 g/㎡	１００	２００	５０	１００
	８･８･８号 g/㎡	１００	１００	１００	１２０
	BM 重焼燐 g/㎡	―	―	―	４０

ダイコンの播種時にジェイエース粒剤を 1～2g/株に施用しましょう。キャベツ、ホウレンソウ、タマネギ苗床には播種時にダイアジノン粒剤５を 3～5g/株に施用しましょう。（間引き菜として食用する場合は使用を避けましょう）

水稲

品　種	作業内容	
ひとめぼれ きぬむすめ ヒノヒカリ	刈取り	圃場の90%程度が黄化したころ。一穂に 10～15%程度青籾が残っている時
	乾燥調整	14.5%～15%に水分調整する

◎営農相談フリーダイヤル　　０１２０－０８２７２２